ミニ ちかなが
2018年1月
近永公民館
編集：松浦慎二
TEL45-1111
内線 4410
FAX45-2810

二〇一八年の目標・抱負

新年、明けましておめでとうございます。
今年も公民館活動に対しまして、より一層のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。近永地区の各種団体で活躍されている方々に、今年の抱負・目標をご執筆頂きましたので紹介します。

「年頭のご挨拶」

近永公民館
館長 松浦幹生

明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、お忙しい中、区長さんを始め、それぞれの役員さん、そして地域住民の皆さんには、公民館に対しまして積極的にご協力いただき、無事に一年を終えて新年を迎えましたこと、誠にありがとうございます。心から厚くお礼申し上げます。
さて、昨年を振り返って、公民館の三大ニュースを挙げますと、一番が国体民泊です。公民館が直接お手伝いをすることはありませんでしたが、近永地区が民泊の受け入れに向かって活性化した年になりました。どの地区も温かいおもてなしとふれ合いで感動的な民泊になったようです。二番目が大雨警報発令時に自主避難の避難所になったことです。昼間、三名の方が利用されましたが、初めてのことでした。ただ、この二週続けての台風接近のために、準備万端であった地区運動会ができませんでした。各地区ともに地域一丸となって運動会を楽しもうと、選手集めをしていただきましたのに、とても残念なことでした。三つ目は、改善を加えた通学合宿に参加者が増え、異年齢での生活体験に前向きに取り組んでくれたことです。とても態度も良く、協力していただく老人クラブや婦人会、婦人クラブの方々とも楽しく笑顔で交流ができ満足感あふれる行事となりました。成果があったこと、思うようにいかなかったことなど様々ですが、皆さんに支えていただきながらの取り組みです。本年も昨年同様にどうぞよろしくお願いいたします。
今年も「明るい地域づくり」を目指して、より一層地区住民の皆さんに親しまれ、集まりやすい公民館になるよう、皆さんのご意見をお聞きしながら取り組んでいきたいと思います。これからも積極的なご参加・ご協力をお願いしますとともに、皆様方にとって最良の年になりますようご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

「新年を迎えて」

近永公民館運営審議会
委員長 中山定則

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、夢と希望に満ち溢れた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、近永公民館の各種事業に多くの皆様が参加され、生涯学習に励まれると共に、地域の連帯感を深められたことと思います。各種事業の実施に当たり、公民館関係者、実行委員の方々のご労苦に敬意を表する次第であります。また、昨年は国体が愛媛県で開催され、鬼北町は、少年女子バレーボールの開催地となりました。民泊方式での開催で多くの皆様が運営にかかわり、無事、成功裏に終わり、国体の感動を実感されたことと思います。
新しい年も、「集う」「学ぶ」「結ぶ」という公民館の基本的な機能を生かした活動が活発に展開されることを期待いたします。
新しい年が、皆様にとりまして最良の年となりますことを祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

「新年を迎えて」

近永地区区長会
会長 松浦充彦

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年中は、公民館行事に多くの皆様方にご参加、ご協力をして頂きありがとうございました。私自身も各種行事に参加させて頂き、多くの皆様との交流や親睦を深めることができ、良い経験をさせて頂きました。何事もなく、無事に大役を務めさせていただいたのも、皆様のご協力があってのことと、心からの感謝とお礼を申し上げます。これを機会に、これから少しでも公民館行事に参加、協力して、微力ながらも皆様のお役に立てればと思いますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。
皆様にとって新しい年が、すばらしく、希望に満ちた年でありますようにご祈願いたしまして、新年のご挨拶といたします。

「新年を迎えて」

老人クラブ近永支部
支部長 岡原直臣

新年あけましておめでとうございます。わたくしも、ひょっとしたことから、義理と人情で老人クラブに入会することになり、数日後には支会の役員、昨年からは近永支部の役員もするようになってしまいました。どこの組織もそうであるように役員の選出には苦労しています。私が考えるには、この町で一人でも多くのシルバーが老人クラブに入っていただきお話の出来る友を探してみてはどうでしょうか。例えば一日研修でバス旅行に行ったり、県外研修で楽しい経験・体験をして、認知症防止に役立てましょう。それよりも一番の収穫は、人との出会いがあることです。
これから先、シルバーの方がますます増えますが、元気で楽しく面白い人生を送っていきましょう。今年も公民館の指導を仰ぎながら少しでも地域の皆様のお役に立つような会を目指して頑張りたいと思っております。今後とも皆様のご支援とご指導をお願い致します。

「新年に向けて」

近永地区婦人会
会長 武田光

明けましておめでとうございます。皆様お揃いで新しい良い年をお迎えられたことと存じます
私にとりましては、平成29年という年は本当に充実した幸福な年だったと感じています。漢字一字に表すと「旅」でした。例年のように多くの皆様に参加していただき、楽しく、元気に研修の旅を実施することができました。「所変われば品変わる」といいますが、旅は、お友達との会話もはずみます。会員同志のふれ合いで、それぞれの良い所を再発見出来る旅となったことがありがたかった一年でした。
婦人会員の減少で活動は大変ですが、「人は一人では生きていけない。」この本当の意味が婦人会活動の中で見えてくるように感じています。その人その人にあった無理のない活動の中で、「ありがとう」の言葉と一緒に笑顔もいただくのが婦人会活動のすばらしさだと思います。「認めあい、信じあい、分かちあい」の三つのあいを持って、これからの新たな共生の時代を、「地域大好き、婦人会から」をテーマに、新しい年も笑顔で交流出来ることを願って、公民館活動とともに大好きな地域を元気にしていきたいですね。今後とも皆様の御支援・御協力をお願い致します。

「中学生へのカウントダウン」

近永小学校
六年 松浦士竜

ぼくは、今年中学生への第一歩をふみ出します。中学生は、部活動や勉強をはじめ様々なことがあります。職場体験、修学旅行・・・とにかくとても楽しみです。だけど、苦しいことや大変なこともあると思います。でも、そういうことをがんばって乗りこえてこそ、立派な中学生になる第一歩だと思います。
中学生になると、勉強のハードルがあがります。だから、今まで小学校で積み重ねてきた実力を発揮してがんばりたいです。そして、部活動も始まります。ぼくは、サッカー部に入ります。真面目に練習をして、試合で大活躍したいです。勉強も部活動も、文武両道で楽しみたいです。友達もたくさんつくって一緒に遊びたいと思います。小学校と別れるのはさみしいけれど、それは、一つ上の段階に上がることなのだと思います。さあ、新しい年を迎えて、中学生へのカウントダウン。スタート！

「中学生へレベルアップ」

近永小学校
六年 浅野由梨香

私は中学生になるのが楽しみです。理由は、ほかの小学校からも友達が来るし、まだ、知らない人とも仲良くなりたいからです。部活動は、吹奏楽部かテニス部に入ろうと思っています。でも、少し心配なこともあります。それは勉強です。中学校では、算数が数学に変わったり、地理があったりと、難しくなると思うので、まずは小学校で習った問題と、苦手なところをきちんと復習して、中学校へ備えたいです。中学校に行っても続けて頑張りたいことは漢字です。完ぺきに覚えて、中学校でも漢字検定に挑戦して、合格したいです。残りの小学校生活では、やり残したことがないように、楽しく遊んで、しっかり勉強もしたいと思います。私は、この近永小学校の校訓「明るく仲よくたくましく」を忘れないように中学生へレベルアップしたいと思います。

レディース・カルチャー・スクール ★★発泡スチロールの干支教室★★

11月24日、近永公民館でレディース・カルチャー・スクールを開講しました。今回は、武田光さん（北川）を講師に迎え、発泡スチロールの干支教室を行ないました。
みなさん手先がとても器用で、良い作品が完成しました。

「編集後記」

新年明けましておめでとうございます。昨年中は公民館諸活動に対しまして、格別のご協力を頂き、誠にありがとうございました。
今年も公民館行事等のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

1月 行事予定およびイベント情報

日	行事・イベント名	場所
3日(水)	平成30年　鬼北町成人式	広見体育センター
7日(日)	子泣かし天狗祭	広見体育センター
14日(日)	鬼北町駅伝競走大会	
28日(日)	レディース・カルチャー・スクール	町外
28日(日)	平成30年　鬼北町消防出初式	鬼北総合公園